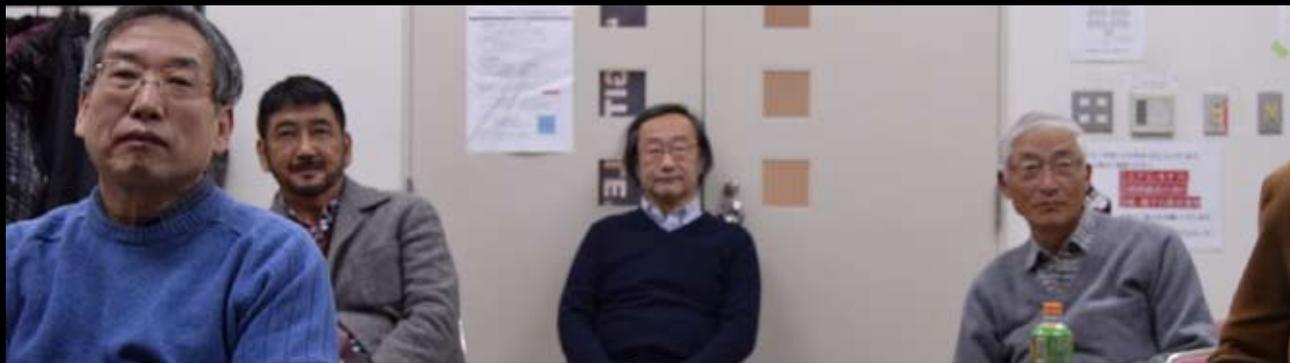


DIGITABLE 第71回勉強会レポート

2014年1月18日 於：江東区森下文化センター 第四研修室



D5300Wi-Fi機能を利用したスマートデバイスによるライブビュー撮影画像

Digitable 基礎講座 「小型ストロボによる簡単ライティング」

「Nikon D5300 レビュー」：高木大輔講師

参加者全員による「ライトニングトーク」（持ち時間3分）

Photoshop 研究講座 「レンズの解像度について」：平野正志 講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

Digitable 基礎講座 2013 第7回 高木大輔講師

今月はお正月特別企画で二本立て授業となった。

小型ストロボライティング

デジタル一眼レフ高感度特製の向上により、フィルム時代ほどの大光量が必要なくなり、小型ストロボの利用範囲は広がっている。マニュアル操作でも写り具合のモニターチェックで、気軽にトライできるのが魅力だ。

■クリップオンストロボのバウンスの可動範囲を利用して、さまざまな配光のモデル撮影の作例を比較解説した。
■サンパック・ディフューザーキット、内蔵リトラクタブルストロボ用のバウンスボード、「影とり」(Kenko製)、内蔵ストロボ用の手作りディフューザについても詳しく解説した。… (後略)

Nikon D5300 レビュー

D5300を「日常携帯用の軽いカメラを…」と導入したが、印象と新しい画像利用の可能性を印象をレポートする。

■ローパスレスの2416万画素センサー+最新の画像処理エンジンEXPEED4搭載。写りに関してはDXフォーマットの最新・最高スペックと考えて問題ないようだ。ローパスフィルターレス化だが、モアレの発生などの問題もここまで高画素化が進むと、センサーピッチ上あまり問題なくなってきたことも背景にあるだろう。

■AFも高密度39点システムとなり、エントリー機にありがちな感度は解消。撮像感度はISO1600～3200は十分に使える感度とあってよいようだ。

■Wi-Fi機能内蔵、Wireless Mobile Utility (無料) を使って一眼レフならではの写真を、スマートフォンやタブレット端末などにワイヤレスで転送できるもので、撮影中でもタイムリーに画像を発信できる訳だ。SNSでなくとも、例えばクライアントに確認用の撮影画像をすぐ送る、などなど…使い途は公私に亘り無限に広がりそうだ。… (後略)

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>



内蔵のリトラクタブルストロボもディフューザ等の活用で大きく使い途と表現域が広がるものだ

カメラから離れて自由に撮影



D5300Wi-Fi機能の概念図

写真転送ばかりでなく、スマートデバイスをカメラの液晶モニター代わりに使ったライブビュー撮影も可能。大きな可能性を持った機能だ

(※図はニコンHPから転載)

参加者全員による「ライトニングトーク」

(各自持ち時間 3分)

T 講師：強い逆光でもあきらめない撮影技術の“凄ゴ技！”

IS 会員：高階修爾さんの名著「名画を見る眼」について

NK さん：イタリヤ旅行記のプリントとイタリヤの写真雑誌

記事の画像処理のテクが大胆そうで興味津々

ST 会員：写真の基礎処理について質問コーナーを要望

HC 会員：Apple iwork の「Pages」を使って年賀状を作る

YK 会員：デジブックによる軽井沢のレストラン

SY 会員：SONY 提供の TV 番組表とその活用報告

GK さん：リアリズム写真集団と「私写真の時代」について

SD さん：初参加で SNS 状況と取り組んでいる靖国の写真

KM 会員：おなじみ？「3 分間自己紹介」を楽しく披露

KS 会員：近作で外川（銚子市）に取り組んでいる報告

H 講師：ポートフォリオ 64 号の紹介

…今月の言葉：「アーリーアダプター」

Photoshop 研究講座 平野正志 講師

「レンズの解像度について」

カメラの高画素化でレンズの描写力が問われている。ニコンの常用域新旧レンズで解像度を比較してみよう…

AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED

「高い解像力と優れた収差補正バランスを実現した、極めて高い描写性能を発揮するズームレンズ。ナノクリスタルコートの効果で、逆光気味の状況でも、ゴースト、フレアの少ないクリアな画像が得られる」とある。

AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VR

「実用性と機能性に富んだ標準ズームレンズで VR 機構（手ブレ補正効果 3.5 段※）も搭載」とあるが、レンズ設計はいささか旧タイプだ。…

それぞれ最短の 24mm 域、70mm 域で、f5.6 及び f22、レンズ中心と端域、室内近景と屋外遠景で比較した。…

AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED では、中心部から周辺部においてもある程度のシャープさを保っている。f22 では回折の影響か、多少のボケを感じる。

AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VR では、中心部はある程度のシャープさを保っているが、周辺部では大きくシャープさが損なわれる。特に 5.6 では顕著だ。

色調的にはナノコートのほうが多少の彩度の高さはありそうだ。…

その他、MTF 特性グラフについても言及した…

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>



今月の 1 枚：勉強会のホームグラウンド
江東区森下文化センターのエンタランス



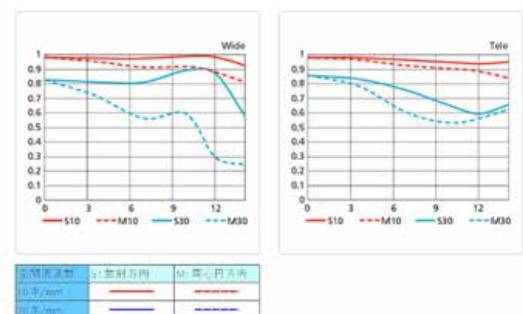
AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED



AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VR



それぞれ最短の 24mm 域、70mm 域で、f5.6 及び f22、レンズ中心と端域、室内近景と屋外遠景で比較検証した



MTF 特性グラフ メーカーにより基準値が違うようだ